

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	「ゾーン30」整備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	4 市民が安全に生活できる交通環境の整備					
施 策 の 内 容	1 交通安全施設の整備充実					
H27決算額	788千円	財源内訳	国県支出金 385千円	地方債	その他	一般財源 403千円

【事業の概要】

市街地において、生活道路が集まった区域、自動車の通行よりも歩行者・自転車の通行の安全が優先される区域、速度抑制が必要と認められる区域等を「ゾーン30」として認定し、最高速度30km/hの速度規制や大型自動車通行禁止等の交通規制を実施するほか、路側帯の設置やカラー舗装・道路標識・標示の整備等の対策を実施します。本年度においては、生田町地内の外側線やドットマーク・交差点マークなど路面標示を実施しました。

[平成27年度分]

財源内訳 国県支出金 385千円 一般財源 403千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
路面標示設置工事	788	外側線、ドット・交差点マーク設置
合 計	788	



生田町地内

【事業の成果】

区画線設置、路面標示等を実施することで、通行者や自転車の交通の安全を確保することができました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	橋梁耐震対策事業					
施 策 の 大 綱	2－2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	8 橋梁震災対策の推進					
H27決算額	40,484千円	財源内訳	国県支出金 21,417千円	地方債 17,900千円	その他	一般財源 1,167千円

【事業の概要】

地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るために、橋梁の耐震補強工事を2橋、実施設計を1橋実施しました。

[平成26年度からの繰越分]

財源内訳 国県支出金 19,724千円 地方債 16,700千円 一般財源 982千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道六号3号橋（中高津跨道橋）	19,564	耐震補強工事
国道六号2号橋（永国跨道橋）	17,842	耐震補強工事
合 計	37,406	

[平成27年度分]

財源内容 国県支出金 1,693千円 地方債 1,200千円 一般財源 185千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道六号5号橋（中高津第2跨道橋）	3,078	耐震補強工事実施設計委託
合 計	3,078	



国道六号3号橋（通称：中高津跨道橋）



国道六号5号橋（通称：中高津第2跨道橋）

【事業の成果】

耐震補強工事の実施により、大規模地震が発生した場合でも橋梁の損壊を防ぐことが可能となり、避難路及び緊急輸送路の確保が図られました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	橋梁長寿命化修繕事業					
施 策 の 大 綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	8 橋梁震災対策の推進					
H27決算額	138,572千円	財源内訳	国県支出金 69,041千円	地方債 54,600千円	その他	一般財源 14,931千円

【事業の概要】

橋梁の老朽化が進んでいるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）外2橋の長寿命化工事を実施しました。

[平成26年度からの繰越分]

財源内訳 国県支出金15,212千円 地方債 11,200千円 一般財源 4,790千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道六号2号橋（永国跨道橋）	11,545	長寿命化修繕工事
国道六号3号橋（中高津跨道橋）	12,728	長寿命化修繕工事
山王橋・大志戸橋	6,929	長寿命化修繕工事
合 計	31,202	

[平成27年度分]

財源内訳 国県支出金 53,829千円 地方債 43,400千円 一般財源 10,141千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
山王橋・大志戸橋	707	長寿命化修繕工事
東真鍋1号橋（木田余立体橋）	44,053	長寿命化修繕工事
真鍋1号橋（浅間台高架橋）	14,770	長寿命化修繕工事
常磐線6号橋（神立跨線橋）	9,500	長寿命化修繕工事
常磐線5号橋外12橋	38,340	橋梁長寿命化修繕詳細設計委託
合 計	107,370	

[平成28年度への繰越分]

財源内訳 国県支出金 22,304千円 地方債 16,800千円 一般財源 1,448千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
真鍋1号橋（浅間台高架橋）	23,700	長寿命化修繕工事
常磐線6号橋（神立跨線橋）	15,750	長寿命化修繕工事
国道六号5号橋	1,102	長寿命化修繕工事（予定）
合 計	40,552	



東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）



常磐線5号橋（通称：真鍋跨線橋）

【事業の成果】

計画的かつ予防的な修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図り、老朽化する橋梁の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行い、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路ストック総点検事業					
施 策 の 大 綱	2－2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	4 市民が安全に生活できる交通環境の整備					
施 策 の 内 容	1 交通安全施設の整備充実					
H27決算額	11,319千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,226千円	4,500千円		593千円

【事業の概要】

老朽化が進んでいる路面や照明施設、擁壁・法面などの道路ストックについて損傷状態を把握するため実施した点検結果に基づき、擁壁2箇所の更新工事詳細設計及び道路照明施設修繕工事を実施しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
市道Ⅰ級15号線外	5,422	擁壁更新工事詳細設計委託2箇所
市道Ⅰ級3号線外	5,897	道路照明施設修繕工事8基
合 計	11,319	



擁壁更新工事詳細設計（市道Ⅰ級15号線）



擁壁更新工事詳細設計（市道Ⅰ級25号線）



道路照明施設修繕工事（市道Ⅰ級3号線）

【事業の成果】

道路の老朽化対策として、インフラ施設（道路ストック）の点検結果に基づき、計画的な予防的修繕を行うことにより、市民が安心・安全に生活できる交通環境を確保しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路新設改良事業					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	3 生活道路の整備					
H27決算額	737,394千円	財源内訳	国県支出金 80,596千円	地方債 541,500千円	その他	一般財源 115,298千円

【事業の概要】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善のための次の工事を実施しました。

- ・幹線道路、その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

○ 路線整備

①市道Ⅰ級1号線	L = 100m	W = 6m
②市道Ⅰ級38号線	L = 113m	W = 4.6～7.0m
③市道Ⅰ級25号線	L = 170m	W = 4.0～4.7m
④市道穴塚80号線	L = 220m	W = 4m
外 31件	L = 4,075m	W = 4.0～12.0m

◎平成26年度からの繰越金

財源内容 国県支出金 55,344千円 市債 259,600千円 一般財源 46,930千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	29,370	8件 延長 3,250m
工事請負費	315,907	19件 延長 2,991m
用地取得費	7,839	4路線 1,401m ²
物件移転補償費	8,758	立木・工作物・電柱移設費等
合計	361,874	

◎平成27年度分

財源内容 国県支出金 25,252千円 市債 281,900千円 一般財源 68,368千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	61,802	35件 延長 4,388m
工事請負費	250,288	16件 延長 1,687m
交通安全施設工事	2,095	3件 区画線等
用地取得費	15,237	32路線 2,084m ²
物件移転補償費	37,195	立木・工作物・電柱移設費等
役 務 費	6,523	鑑定料・登記料
事務費等	2,380	
合計	375,520	

◎平成28年度への繰越分

財源内容 国県支出金 23,605千円 市債 282,200千円 一般財源 39,522千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	50,777	14件 延長 4,363m
工事請負費	275,414	20件 延長 3,114m
用地取得費	7,877	6路線 638m ²
物件移転補償費	11,259	立木・工作物・電柱移設費等
合計	345,327	



①市道Ⅰ級1号線



②市道Ⅰ級25号線



③市道Ⅰ級38号線



④市道穴塚80号線

【事業の成果】

幹線道路（Ⅰ級線・Ⅱ級線）の拡幅改良工事・歩道整備や生活道路・狭あいな市道の拡幅改良工事・舗装工事・交通安全施設工事を実施することにより，日常生活の利便性の向上と生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路照明灯ＬＥＤ化事業					
施 策 の 大 綱	２－６ 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	１ 持続可能な地球環境の保全					
施 策 の 内 容	４ エネルギー対策の推進					
H27決算額	19,242千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				17,200千円		2,042千円

【事業の概要】

温室効果ガス排出量の削減及び省エネルギー化を推進するために、市管理の道路照明灯について、既存の水銀灯、ナトリウム灯からＬＥＤランプへの交換工事を実施しました。

[平成26年度からの繰越分]

財源内訳 地方債 6,500千円 一般財源 822千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路照明灯ＬＥＤ化工事	7,322	ＬＥＤ化工事(82基)
合 計	7,322	

[平成27年度分]

財源内訳 地方債 10,700千円 一般財源 1,220千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路照明灯ＬＥＤ化工事	11,920	ＬＥＤ化工事(181基)
合 計	11,920	

[平成28年度への繰越分]

財源内訳 地方債 16,000千円 一般財源 1,888千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路照明灯ＬＥＤ化工事	17,888	ＬＥＤ化工事(181基)
合 計	17,888	



市道川口一丁目1号線（土浦高架道上）

【事業の成果】

道路照明灯を長寿命で省エネルギーなＬＥＤランプに交換することにより、温室効果ガス排出量の削減と維持管理費用の削減に寄与しました。

款	土木費	項	河川費			
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	5 浸水被害に強いまちづくり					
施 策 の 内 容	1 都市下水路の整備					
H27決算額	104,625千円	財源内訳	国県支出金 36,490千円	地方債 52,500千円	その他	一般財源 15,635千円

【事業の概要】

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して実施しています。

◎都市下水路整備事業

- ・天川上高津都市下水路施設整備工事 U1, 800mm×1, 500mm L=84m
- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事※ U2, 200mm×1, 900mm L=50m
- ※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・田中二丁目地内小規模排水路施設整備工事 L=343m
- ・虫掛地内小規模排水路施設整備工事 L=150m

[平成27年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	87,269	工事2件, 補償金一式
小規模排水路整備費	17,356	工事3件, 実施設計3件, 用地取得ほか
合 計	104,625	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
小規模排水路整備費	20,941	工事3件

天川上高津都市下水路



施工前



施工後

【事業の成果】

2路線の都市下水路施設整備及び3路線の小規模排水路施設整備等を行い、大雨による浸水被害の低減化を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	地域公共交通確保維持改善事業						
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
施策名	4 やさしく利便性の高い公共交通体系の構築						
施策の内容	1 公共交通体系の構築						
H27決算額	8,905千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 8,905千円	

【事業の概要】

平成21年度に策定した「土浦市地域公共交通総合連携計画」に基づき、高齢者・学生等の交通弱者に対する移動手段を確保するとともに環境負荷の小さい交通体系を構築するため、地域、住民、企業、交通事業者、行政の一体的な連携のもと、公共交通活性化施策の展開を図ります。

また、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築を図るため、「地域公共交通網形成計画」の策定を進めます。

(単位：千円)

区分	金額	概要
負担金	8,187	地域公共交通活性化協議会負担金 7,617 バス運行対策費負担金 570
補助金	718	霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金
合計	8,905	

地域公共交通活性化協議会負担金内訳

(単位：千円)

区分	金額	概要
事業費	7,272	地域公共交通網形成計画策定調査（基礎調査） デマンド型交通のあり方調査 つちうら公共交通マップ印刷 公共交通案内ホームページ維持管理・更新 外
会議費	345	委員報償費等
合計	7,617	



土浦駅上り(上野方面)		土浦駅下り(水戸方面)	
車種	時刻	車種	時刻
常磐線	10:00	常磐線	10:00
常磐線	10:10	常磐線	10:10
常磐線	10:20	常磐線	10:20
常磐線	10:30	常磐線	10:30
常磐線	10:40	常磐線	10:40
常磐線	10:50	常磐線	10:50
常磐線	11:00	常磐線	11:00
常磐線	11:10	常磐線	11:10
常磐線	11:20	常磐線	11:20
常磐線	11:30	常磐線	11:30
常磐線	11:40	常磐線	11:40
常磐線	11:50	常磐線	11:50
常磐線	12:00	常磐線	12:00
常磐線	12:10	常磐線	12:10
常磐線	12:20	常磐線	12:20
常磐線	12:30	常磐線	12:30
常磐線	12:40	常磐線	12:40
常磐線	12:50	常磐線	12:50
常磐線	13:00	常磐線	13:00
常磐線	13:10	常磐線	13:10
常磐線	13:20	常磐線	13:20
常磐線	13:30	常磐線	13:30
常磐線	13:40	常磐線	13:40
常磐線	13:50	常磐線	13:50
常磐線	14:00	常磐線	14:00
常磐線	14:10	常磐線	14:10
常磐線	14:20	常磐線	14:20
常磐線	14:30	常磐線	14:30
常磐線	14:40	常磐線	14:40
常磐線	14:50	常磐線	14:50
常磐線	15:00	常磐線	15:00
常磐線	15:10	常磐線	15:10
常磐線	15:20	常磐線	15:20
常磐線	15:30	常磐線	15:30
常磐線	15:40	常磐線	15:40
常磐線	15:50	常磐線	15:50
常磐線	16:00	常磐線	16:00
常磐線	16:10	常磐線	16:10
常磐線	16:20	常磐線	16:20
常磐線	16:30	常磐線	16:30
常磐線	16:40	常磐線	16:40
常磐線	16:50	常磐線	16:50
常磐線	17:00	常磐線	17:00
常磐線	17:10	常磐線	17:10
常磐線	17:20	常磐線	17:20
常磐線	17:30	常磐線	17:30
常磐線	17:40	常磐線	17:40
常磐線	17:50	常磐線	17:50
常磐線	18:00	常磐線	18:00
常磐線	18:10	常磐線	18:10
常磐線	18:20	常磐線	18:20
常磐線	18:30	常磐線	18:30
常磐線	18:40	常磐線	18:40
常磐線	18:50	常磐線	18:50
常磐線	19:00	常磐線	19:00
常磐線	19:10	常磐線	19:10
常磐線	19:20	常磐線	19:20
常磐線	19:30	常磐線	19:30
常磐線	19:40	常磐線	19:40
常磐線	19:50	常磐線	19:50
常磐線	20:00	常磐線	20:00
常磐線	20:10	常磐線	20:10
常磐線	20:20	常磐線	20:20
常磐線	20:30	常磐線	20:30
常磐線	20:40	常磐線	20:40
常磐線	20:50	常磐線	20:50
常磐線	21:00	常磐線	21:00
常磐線	21:10	常磐線	21:10
常磐線	21:20	常磐線	21:20
常磐線	21:30	常磐線	21:30
常磐線	21:40	常磐線	21:40
常磐線	21:50	常磐線	21:50
常磐線	22:00	常磐線	22:00
常磐線	22:10	常磐線	22:10
常磐線	22:20	常磐線	22:20
常磐線	22:30	常磐線	22:30
常磐線	22:40	常磐線	22:40
常磐線	22:50	常磐線	22:50
常磐線	23:00	常磐線	23:00
常磐線	23:10	常磐線	23:10
常磐線	23:20	常磐線	23:20
常磐線	23:30	常磐線	23:30
常磐線	23:40	常磐線	23:40
常磐線	23:50	常磐線	23:50
常磐線	00:00	常磐線	00:00
常磐線	00:10	常磐線	00:10
常磐線	00:20	常磐線	00:20
常磐線	00:30	常磐線	00:30
常磐線	00:40	常磐線	00:40
常磐線	00:50	常磐線	00:50
常磐線	01:00	常磐線	01:00
常磐線	01:10	常磐線	01:10
常磐線	01:20	常磐線	01:20
常磐線	01:30	常磐線	01:30
常磐線	01:40	常磐線	01:40
常磐線	01:50	常磐線	01:50
常磐線	02:00	常磐線	02:00
常磐線	02:10	常磐線	02:10
常磐線	02:20	常磐線	02:20
常磐線	02:30	常磐線	02:30
常磐線	02:40	常磐線	02:40
常磐線	02:50	常磐線	02:50
常磐線	03:00	常磐線	03:00
常磐線	03:10	常磐線	03:10
常磐線	03:20	常磐線	03:20
常磐線	03:30	常磐線	03:30
常磐線	03:40	常磐線	03:40
常磐線	03:50	常磐線	03:50
常磐線	04:00	常磐線	04:00
常磐線	04:10	常磐線	04:10
常磐線	04:20	常磐線	04:20
常磐線	04:30	常磐線	04:30
常磐線	04:40	常磐線	04:40
常磐線	04:50	常磐線	04:50
常磐線	05:00	常磐線	05:00
常磐線	05:10	常磐線	05:10
常磐線	05:20	常磐線	05:20
常磐線	05:30	常磐線	05:30
常磐線	05:40	常磐線	05:40
常磐線	05:50	常磐線	05:50
常磐線	06:00	常磐線	06:00
常磐線	06:10	常磐線	06:10
常磐線	06:20	常磐線	06:20
常磐線	06:30	常磐線	06:30
常磐線	06:40	常磐線	06:40
常磐線	06:50	常磐線	06:50
常磐線	07:00	常磐線	07:00
常磐線	07:10	常磐線	07:10
常磐線	07:20	常磐線	07:20
常磐線	07:30	常磐線	07:30
常磐線	07:40	常磐線	07:40
常磐線	07:50	常磐線	07:50
常磐線	08:00	常磐線	08:00
常磐線	08:10	常磐線	08:10
常磐線	08:20	常磐線	08:20
常磐線	08:30	常磐線	08:30
常磐線	08:40	常磐線	08:40
常磐線	08:50	常磐線	08:50
常磐線	09:00	常磐線	09:00
常磐線	09:10	常磐線	09:10
常磐線	09:20	常磐線	09:20
常磐線	09:30	常磐線	09:30
常磐線	09:40	常磐線	09:40
常磐線	09:50	常磐線	09:50
常磐線	10:00	常磐線	10:00

つちうら公共交通マップ



公共交通案内ホームページ

【事業の成果】

地域公共交通網形成計画の基礎調査を実施し、本市公共交通の現況及び課題について整理し、本計画の策定に活用しました。

また、つちうら公共交通マップや公共交通案内ホームページ等の情報の提供により、利用者の利便性の向上が図られました。

さらに、赤字バス路線に対し、県や沿線自治体と協調補助を実施し、バス路線の維持に努めました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	協働のまちづくりファンド（ハード）事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	3 景観の向上					
施 策 の 内 容	2 歴史的景観の整備					
H27決算額	155,034千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 155,034千円

【事業の概要】

◎助成対象事業

(1) 市民提案事業

市民団体の提案する公共性や公益性の高い事業を「協働のまちづくりファンド運営委員会」で選定し助成を行います。

上限5,000千円 補助率4/5 以内

(2) 景観形成事業

「旧城下町とその周辺地区」及び「JR土浦駅周辺地区」の表通りにおいて、歴史的建造物等の保存や修景補助を行います。

・歴史的建造物（景観重要建造物、指定文化財、登録文化財）の復旧、修理等

上限5,000千円 補助率2/3 以内

・中城通り地区の建築物における修景整備

上限3,000千円 補助率2/3 以内

・上記以外の建築物における修景整備

上限1,500千円 補助率1/2 以内

・門、塀等の外構

上限1,000千円 補助率1/2 以内

・屋外広告物の修景

上限300千円 補助率2/3 以内

・自動販売機、空調設備、電気設備等の修景

上限300千円 補助率2/3 以内



市民提案事業（旧城下町地区）
多機能型まちなか小規模サロン設置事業



景観形成事業（中城通り地区）
床屋SORA店舗修景工事

平成27年度の基金活用状況（負担金補助及び交付金）

（単位：件、千円）

区分	件数	補助金額
(1) 市民提案事業	1	5,000
(2) 景観形成事業	5	5,459
合計	6	10,459

その他の歳出内訳

（単位：件、千円）

区分	支出額
報償費	37
需用費	93
積立金	144,445
合計	144,575

【事業の成果】

本年度は、市民提案事業1件、景観形成事業5件の事業に対して補助を行いました。歴史的な街並みが残る中城通りや土浦城址の亀城公園等の歴史的景観と調和する建築物や外構が整備されることにより、良好な景観やうるおいのある空間が形成され、地域の魅力向上につながっています。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	かわまちづくり事業					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	3 うるおいのある河川・公園の整備					
施 策 の 内 容	6 良好な水辺空間の整備					
H27決算額	17,359千円	財源内訳	国県支出金 8,246千円	地方債 7,400千円	その他	一般財源 1,713千円

【事業の概要】

平成25年度に国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録された「土浦市かわまちづくり計画」を推進するため、遊歩道整備やガードレール修繕工事等を実施しました。また、広域の自治体の連携で進めることがより魅力的な地域づくりに資することから、平成27年度より「利根川舟運・地域づくり協議会」に加入しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
遊歩道整備工事	16,492	桜川左岸の常磐線～桜川橋間252mを整備しました。
ガードレール修繕工事	842	桜川左岸の匂橋付近のガードレール2箇所を修繕しました。
利根川舟運・地域づくり協議会負担金等	25	平成27年度より本市も協議会に加入しました。
合計	17,359	



整備した遊歩道（桜川左岸，常磐線～桜川橋）



修繕したガードレール（桜川左岸，匂橋付近）

【利根川舟運・地域づくり協議会】

○目的

広大な河川空間を持ち舟運で栄えた長い歴史のある利根川を連携軸として、水面・空間の利用促進，沿川の交流・連携による地域活性化を図り，地域づくりに資することを目的とする。

○会員

我孫子市，印西市，栄町，成田市，酒々井町，神崎町，香取市，東庄町，銚子市，取手市，利根町，河内町，稲敷市，美浦村，かすみがうら市，行方市，潮来市，神栖市，土浦市

○平成27年度総会

平成27年6月3日（水） 水の郷さわら 川の駅2階多目的研修室

【事業の成果】

遊歩道整備やガードレール修繕工事の実施により，中心市街地に近接する桜川や霞ヶ浦の水辺におけるまちと水辺が融合した良好な空間形成の実現に向けた進捗が図られました。

また「利根川舟運・地域づくり協議会」に加入することで，本市における事業を広域的な舟運関連事業の一つとしてPRができ，同時に他市町村の取組を知る場としても活用が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	亀城モール整備事業					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	215,249千円	財源内訳	国県支出金 188,441千円	地方債 12,900千円	その他	一般財源 13,908千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、亀城モールの整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに快適な都市空間を形成します。
また、当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

平成27年度は、事業実施にあたり、用地買収及び移転補償を行いました。

- ・整備年度：平成26年度～平成29年度
- ・事業面積：約2,900㎡

[平成26年度からの繰越分] (単位：千円)

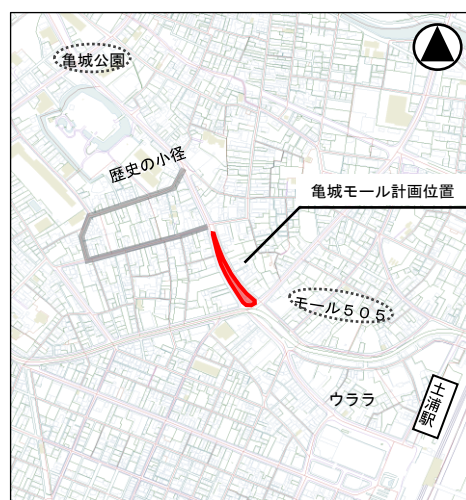
区分	事業費	概要
役務費	8,424	鑑定料等
合 計	8,424	

[平成27年度分] (単位：千円)

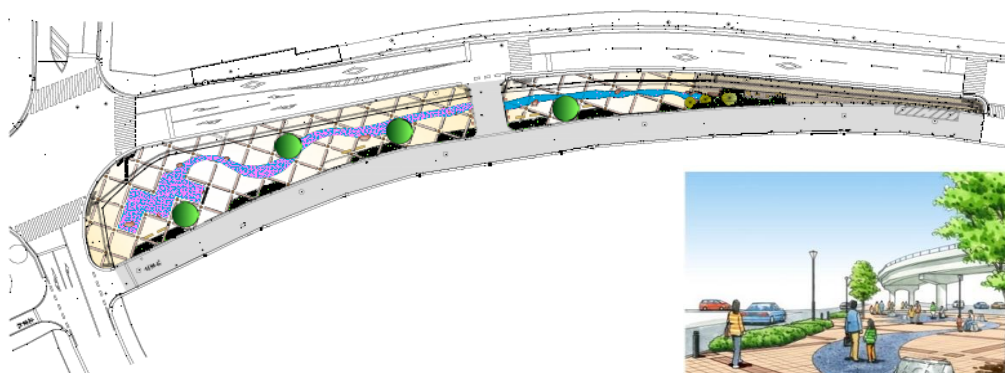
区分	事業費	概要
役務費	3,583	鑑定料等
工事請負費	292	侵入防止柵・看板設置費
用地取得費	7,229	2筆, 127㎡
補償金	195,721	7棟
合 計	206,825	

[平成28年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
用地取得費	30,000	土地代金
補償金	308,140	建物補償等
合 計	338,140	



計画位置図



整備イメージ



【事業の成果】

平成29年度の事業完了をめざし、平成27年度は用地取得等より整備に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	立地適正化計画策定事業					
施 策 の 大 綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	1 市民参加による適正な土地利用の誘導					
施 策 の 内 容	2 コンパクトなまちづくりの推進					
H27決算額	5,940千円	財源内訳	国県支出金 2,800千円	地方債	その他	一般財源 3,140千円

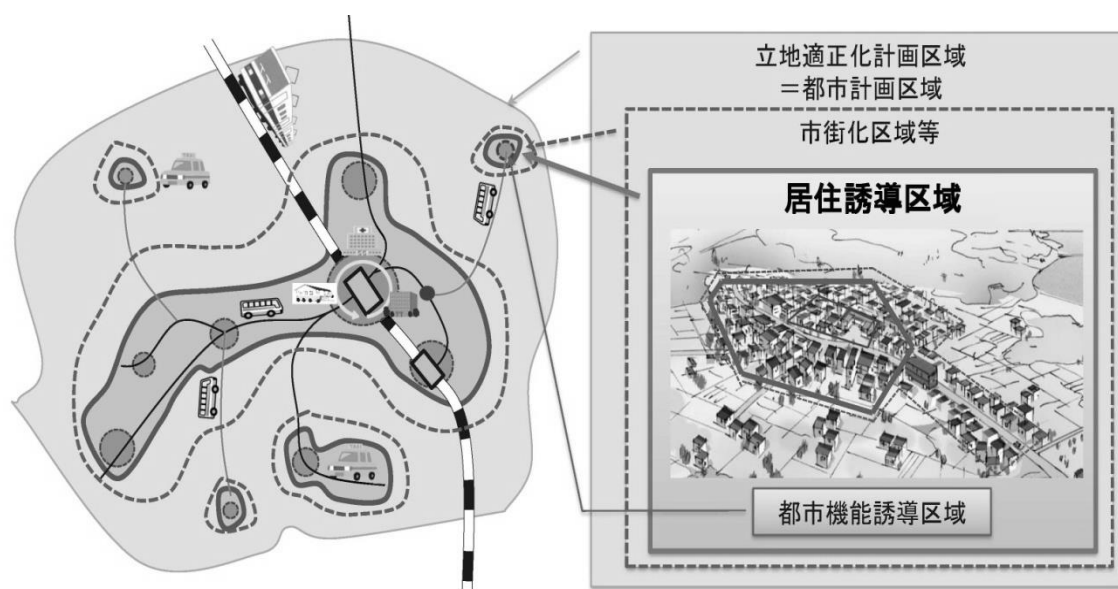
【事業の概要】

立地適正化計画は、住宅及び医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設の立地の適正化を図るため、一定の区域への誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進するものです。

本市においては、平成27年度～平成28年度の2年間で、当該計画の策定を予定しており、平成27年度は、平成28年度末の計画策定に向けて、以下のことについて検討を進めました。

- ①基礎データの整理・検討
- ②基本的方針の検討
- ③都市機能誘導区域・居住誘導区域素案の検討

区 分	事業費	概 要
立地適正化計画策定委託	5,940千円	平成28年度末の立地適正化計画策定に向けた基礎データの整理及び素案の検討等
合計	5,940千円	



立地適正化計画のイメージ

【事業の成果】

医療・福祉・商業等の生活サービス機能と居住を誘導・集約するとともに、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築を目指す「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、人口減少や超高齢社会の到来等に対応した持続可能な都市経営に向けた取組の推進に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅西口広場整備事業					
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施 策 の 内 容	1 土浦駅前北地区の整備					
H27決算額	198,700千円	財源内訳	国県支出金 121,615千円	地方債 62,300千円	その他	一般財源 14,785千円

【事業の概要】

土浦駅西口広場の交通状況については、歩行者、バス、タクシー、一般車の通過交通等がふくそうし危険であることや、市庁舎の移転や図書館を核とした土浦駅前北地区市街地再開発事業を進めていくことにより、広場周辺の更なる交通量の増加が見込まれていることからその交通混雑の解消と利用者の安全性の向上を図ります。

- ・事業期間 平成25年度～平成29年度
- ・広場面積 $A=9,800\text{m}^2$

[平成27年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	198,700	広場改修工事(バスターミナル)

[平成28年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	395,252	広場改修工事(バスターミナル・暫定交差点)



1番線バス乗場（整備前）



1番線バス乗場（整備後）



タクシー・一般車施設 整備イメージ



バスターミナル 整備イメージ

【事業の成果】

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し、交錯する動線を解消することや広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより、安全性の向上が見込まれます。

また、ウララ前の一方通行やりそな銀行前の食い違い交差点を解消することにより、西口広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに、シェルターやサイン等を併せて設置することで、利用者の利便性を向上し、公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	既存建築物耐震化促進事業					
施 策 の 大 綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	9 既存建築物等の耐震化の推進					
H27決算額	874千円	財源内訳	国県支出金 461千円	地方債	その他	一般財源 413千円

【事業の概要】

昭和56年の建築基準法改正以前の木造住宅を対象に、既存建築物の耐震化を促進し、地震に強い安全に暮らせるまちづくりを目指すため、耐震診断士派遣による無料診断を実施するとともに耐震改修計画作成費、耐震改修工事費、耐震シェルター（ベッド）設置費を補助します。

〔平成27年度実施状況〕

事業名	事業費(補助額)	概 要
①木造住宅耐震診断事業	624千円 (41.58千円×15戸)	昭和56年法改正前の木造住宅を対象に茨城県木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断を行うことで危険度の認識を図るとともに、耐震改修を促進する。
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	0千円 (100千円×0戸)	耐震診断を実施した住宅のうち、危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震改修計画作成費を補助する。
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	0千円 (300千円×0戸)	耐震計画を作成した住宅を対象に、危険度の高い住宅の耐震改修工事費（上部構造評点が0.3以上上昇し、かつ1.0以上となる工事）を補助する。
④耐震シェルター設置費補助事業	250千円 (250千円×1戸)	耐震診断を実施した住宅のうち、危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震シェルター（ベッド）設置費を補助する。
合 計	874千円	

〔過去の実績推移〕

事業名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	合計
①木造住宅耐震診断事業	100件	300件	20件	20件	20件	20件	106件	52件	19件	12件	15件	684件
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	—	—	—	—	2件	2件	2件	1件	0件	0件	0件	7件
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	—	—	—	—	1件	1件	2件	1件	0件	0件	0件	5件
④耐震シェルター設置費補助事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0件	1件	1件



耐震診断の様子

【事業の成果】

耐震診断については一定数の需要が毎年あることから、市民の住宅に対する安全性の意識向上に寄与しています。一方、耐震計画作成、耐震改修工事については、件数が伸び悩んでおり、今後もPR等に努めていく必要があります。

本事業を引き続き実施することで、個々の住宅だけでなく、まち全体の地震に対する安全性の向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	2 地域の特性を活かした市街地の整備					
施 策 の 内 容	2 神立駅周辺地区の整備					
H27決算額	495,000千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				237,000千円		258,000千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に推進し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積 2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間 平成24年～平成31年度
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線W=22m, L=23m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線W=15m, L=210m
- ・総事業費 55.5億円（関連事業費を除く。）

[関連事業]

- ・駅舎橋上化整備事業 A=950㎡
- ・自由通路整備事業 W=6m, L=40m
- ・東口歩行者専用道路整備事業 L=490m A=6,660㎡

[平成27年度負担金内訳]

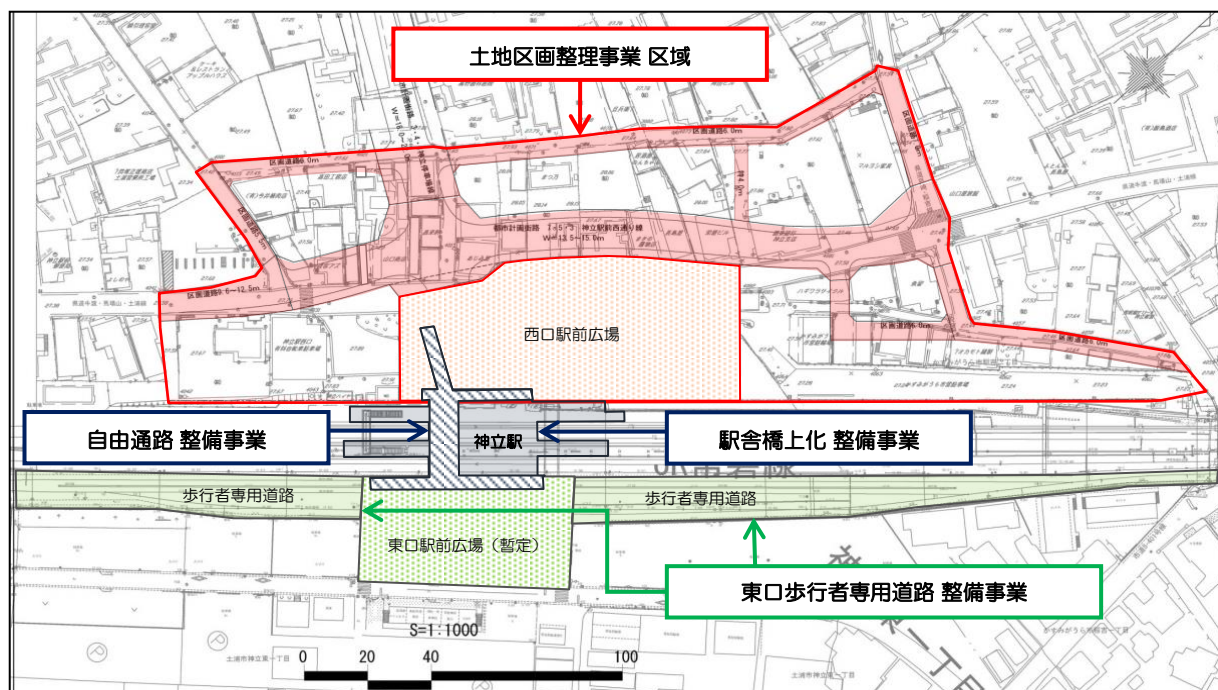
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
事業費分	225,520	建物等移転補償費、駅舎・自由通路実施設計委託料等
事務費分	3,071	現場事務所諸経費
人件費分	26,007	派遣職員人件費 3名分
合 計	254,598	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
事業費分	116,222	仮設西口駅前広場工事、東口歩道用地買収費等
決算剰余金	124,180	市への返還金 137,250 (124,180+H26繰越分13,070)
合 計	240,402	



駅舎（全体）イメージ



左：駅舎（西口）イメージ
下：自由通路イメージ

【今後のスケジュール】

- ・平成28年度
建物等移転（継続），仮設駅前広場供用開始（6月），仮駅舎利用切替（10月予定），駅舎・自由通路本体工事着工（10月予定，平成30年夏頃一部供用開始，平成31年3月完成予定），宅地造成工事（一部）
- ・平成29年度～
宅地造成工事，道路等整備工事，インフラ整備工事



【事業の成果】

駅舎橋上化及び自由通路整備工事について，東日本旅客鉄道株式会社と施行協定を締結し，平成31年3月完成を目指し準備工事に着手しました。

また，第2回仮換地指定を行い指定率が100%となりました。これにより，事業の展開に合わせ移転補償を開始し，仮設西口駅前広場や神立停車場線に係るものから順次補償契約による支障物の撤去を進めることで事業の進展を図り，神立駅を中心とした活力とにぎわいのあるまちづくりの推進に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	119,231千円	財源内訳	国県支出金 62,346千円	地方債 47,800千円	その他	一般財源 9,085千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～平成29年度
- ・整備延長 L=1,435m
- 幅員 W=16.0m

[平成26年度からの繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	77,518	道路改良工事

[平成27年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	1,550	測量、道路修正設計
工事請負費	38,597	道路改良工事
補償補填及び賠償金	1,566	補償金
合 計	41,713	

[平成28年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	3,807	測量、道路修正設計
工事請負費	104,080	道路改良工事
合 計	107,887	



位置図

【事業の成果】

西並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸としての交通ネットワークが構築されることとなり、新治地区から市街地への観光客誘導を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立停車場線街路事業					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	188,460千円	財源内訳	国県支出金 61,600千円	地方債 113,700千円	その他	一般財源 13,160千円

【事業の概要】

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみがうら市が整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・事業期間 平成23年度～平成31年度
- ・整備延長 L=283m
幅員 W=22.0m

[平成26年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
補償補填及び賠償金	18,802	補償金

[平成27年度分]

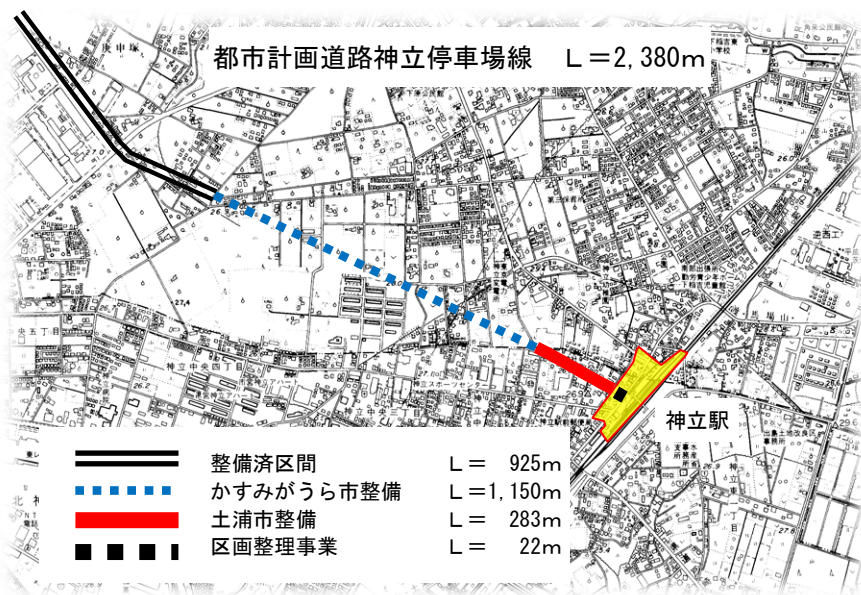
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費等	9,107	補償物件算定等
工事請負費	270	防護柵設置
公有財産購入費	42,295	用地取得費
補償補填及び賠償金	117,986	補償金
合 計	169,658	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
補償補填及び賠償金等	11,000	補償金等



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上により、市北部地区の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境を創出します。

また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図るなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業《合併特例債事業》					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	416,670千円	財源内訳	国県支出金 170,783千円	地方債 230,500千円	その他	一般財源 15,387千円

【事業の概要】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

- ・事業期間 平成24年度～平成28年度
- ・整備延長 L=1,320m
幅員 W=12.0m

[平成26年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費等	354	不動産鑑定、補償物件再算定
工事請負費	231,136	道路改良工事
公有財産購入費	7,475	用地取得費
補償補填及び賠償金	136	補償金
合 計	239,101	

[平成27年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費等	2,053	公用車燃料、図書、消耗品等
工事請負費	175,516	道路改良工事
合 計	177,569	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	2,646	道路台帳修正、交通量調査等
工事請負費	198,757	道路改良工事
公有財産購入費	26,872	用地取得費
補償補填及び賠償金	12,928	補償金
合 計	241,203	



位置図



供用開始区間

【事業の成果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

また、本路線には新消防庁舎が隣接することから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

県道小野土浦線から市道Ⅰ級15号線までの延長約660mについては、平成28年2月に供用開始しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業《合併特例債事業》					
施 策 の 大 綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	328,617千円	財源内訳	国県支出金 156,940千円	地方債 161,200千円	その他	一般財源 10,477千円

【事業の概要】

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

- ・事業期間 平成24年度～平成30年度
- ・整備延長 L=2,900m
幅員 W=14.0m

[平成26年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	40,542	道路改良工事
公有財産購入費	22,872	用地取得費
補償補填及び賠償金	42,738	補償金
合 計	106,152	

[平成27年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費等	8,127	補償物件算定等
工事請負費	189,730	道路改良工事
公有財産購入費	16,822	用地取得費
補償補填及び賠償金	7,786	補償金
合 計	222,465	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	175,070	道路改良工事
公有財産購入費等	67,015	用地取得費、補償金
合 計	242,085	



整備状況写真

【事業の成果】

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地内の円滑な交通体系の構築に寄与するとともに、総合病院へのアクセス向上が期待できます。

国道354号から市道Ⅰ級13号線までの延長約470mについては、平成28年3月に供用開始しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	3,131千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,800千円		331千円

【事業の概要】

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図るとともに、市の広域的な地域間連携を図ります。

- ・事業期間 平成26年度～平成32年度（Ⅰ期）
- ・整備延長 L=1,300m
- 幅員 W=25.0m

[平成27年度分]

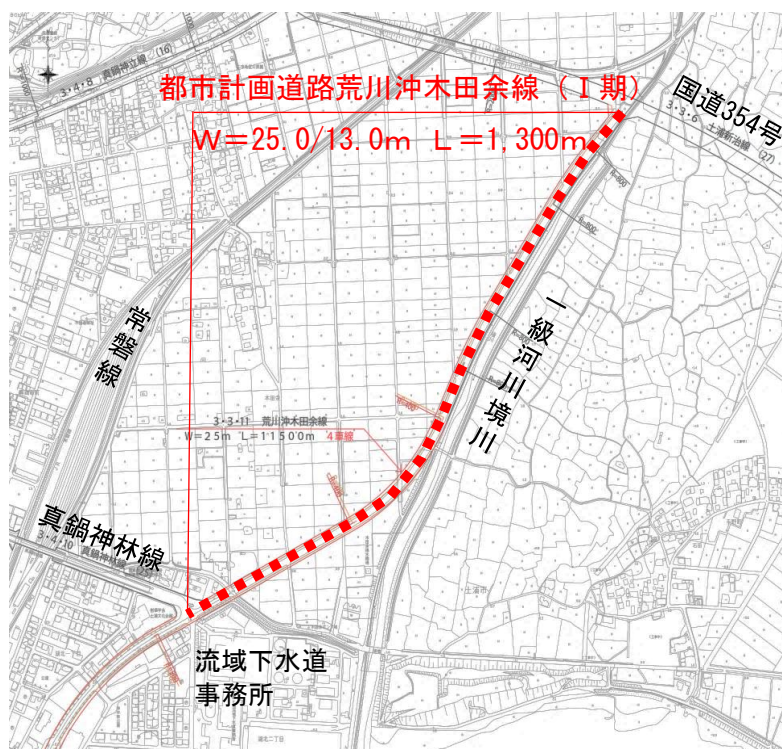
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	3,131	用地測量

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	31,869	道路詳細設計，用地測量
公有財産購入費	50,000	用地取得費
合 計	81,869	



位置図

【事業の成果】

ボトルネックの解消により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、通過交通の排除により市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	川口田中線街路事業（Ⅲ期）					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H27決算額	44,780千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,800千円		4,980千円

【事業の概要】

本路線は、中心市街地の骨格となる市街地環状道路と位置付けられており、市街地東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、Ⅰ期、Ⅱ期事業区間は既に供用開始しています。

本事業では市道Ⅱ級41号線（旧国道354号）から土浦警察署西側交差点（立田町）までの区間を整備することで、全線開通を図ります。

- ・事業期間 平成21年度～平成28年度（Ⅲ期）
- ・整備延長 L=469m
- 幅員 W=16.0m

[平成27年度分]

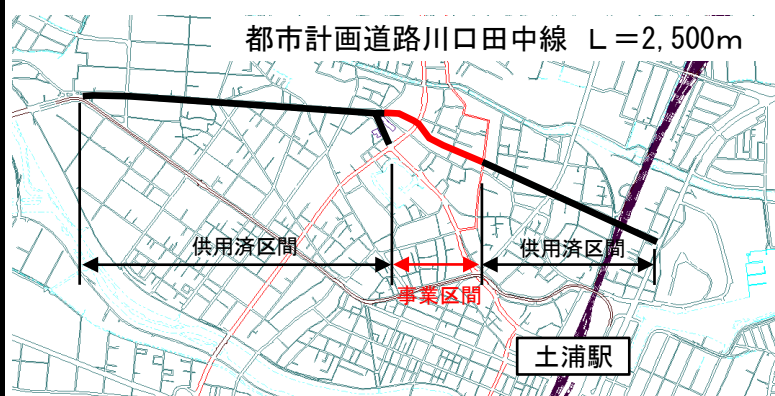
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費	69	消耗品
工事請負費	29,786	交差点改良工事等
公有財産購入費	4,770	用地取得費
補償補填及び賠償金	10,155	補償金
合 計	44,780	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費	756	不動産鑑定
委託料	3,456	道路台帳修正等
工事請負費	56,131	交差点改良工事等
公有財産購入費	2,530	用地取得費
補償補填及び賠償金	3,345	補償金
合 計	66,218	



位置図



供用開始区間

【事業の成果】

Ⅲ期事業区間の延長469mについては、平成28年3月に供用開始しました。

この開通により、土浦駅西側の中心市街地と霞ヶ浦に面する水辺地区とが新たに結ばれることで、移動時間の短縮が図れ、交流促進・活性化に寄与することが期待されます。

また、中心市街地における新たな東西軸を形成する幹線道路として、国道354号、国道125号、都市計画道路真鍋神林線及び土浦駅東学園線の補完が図られ、交通分散による渋滞緩和が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅北通り線整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H27決算額	32,801千円	財源内訳	国県支出金 2,288千円	地方債 7,700千円	その他	一般財源 22,813千円

【事業の概要】

土浦駅北通り線のうち、土浦駅前北地区市街地再開発事業で整備する区域から北側80mの区域について、再開発事業と併せて拡幅整備をすることで、歩行者動線を確保しながら車両と歩行者の通行を分離し、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生みだします。

- ・事業期間 平成18年度～平成29年度
- ・事業内容 道路拡幅整備（9.5m→14m、両側歩道2.5m） L=80m、W=14.0m
電線共同溝 小型トラフ（410mm×240mm、L=124m）

〔平成26年度からの繰越分〕

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	1,045	土浦駅北通り線付帯工事
補償費	13,639	支障物件移設補償（地下埋設物移設補償）
合 計	14,684	

〔平成27年度分〕

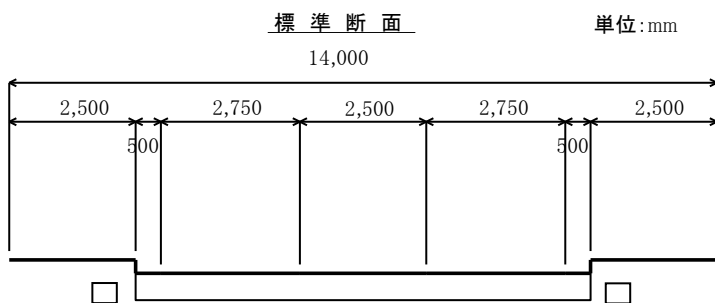
（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	12,730	土浦駅北通り線整備工事
補償費	5,273	支障物件移設補償（地下埋設物移設補償）
事務費等	114	測量委託料、需要費、使用料及び賃借料
合 計	18,117	

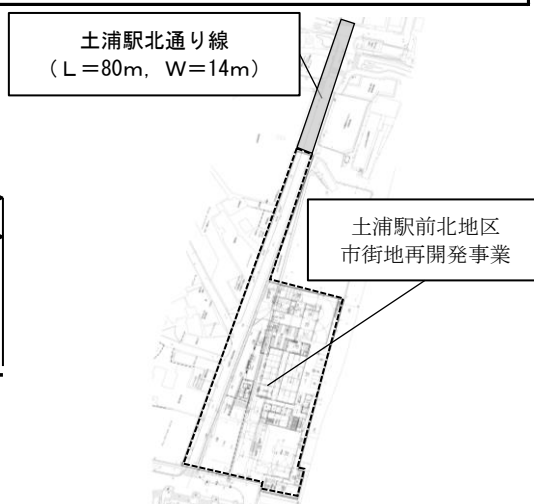
〔平成28年度への繰越分〕

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	22,670	土浦駅北通り線整備工事
合 計	22,670	



都市計画道路 土浦駅北通り線



【事業の成果】

平成27年度には、地下埋設物移設に伴う支障物件移設補償を行い、土浦駅北通り線整備工事に向けた進捗が図られました。

また、今後の道路拡幅整備に伴い、両側に歩道が整備され電線地中化が図られることから、来街者の回遊性や安全性、利便性の向上に加えて、駅前にふさわしい街並み景観の向上にも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業					
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施 策 の 内 容	1 土浦駅前北地区の整備					
H27決算額	541,770千円	財源内訳	国県支出金 163,391千円	地方債 119,700千円	その他	一般財源 258,679千円

【事業の概要】

新図書館等の公共施設が入る再開発ビルと市本庁舎及び土浦駅との連絡を強化するため、既存のペDESTロリアンデッキとの連結整備を行うことにより、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生みだします。

- ・事業期間 平成18年度～平成28年度
- ・事業内容 既設ペDESTロリアンデッキ L=110m, W=4m～10m
新設ペDESTロリアンデッキ L=102m, W=3.5m

[平成26年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	408,249	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備工事
補償費	51,376	支障物件移設補償（地下埋設物移設補償）
合 計	459,625	

[平成27年度分]

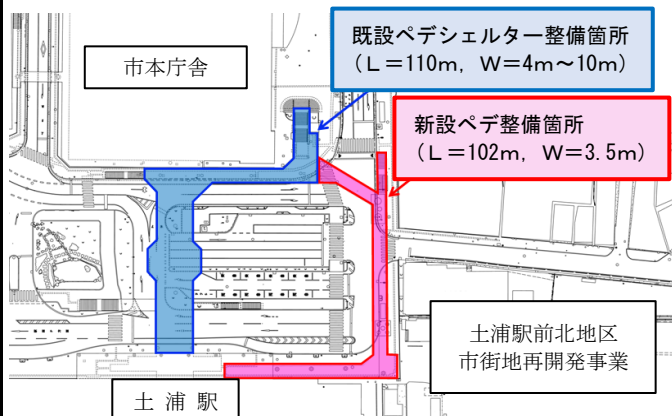
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	77,760	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備工事
補償費	4,341	物件移設補償（避難器具移設補償）
事務費等	44	旅費、需要費、使用料及び賃借料
合 計	82,145	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	401,533	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備工事
合 計	401,533	



土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業



完成した既設ペデシェルター

【事業の成果】

平成27年度には、既存ペDESTロリアンデッキのシェルター（屋根）整備工事が完了し、歩行者の利便性が向上しました。

また、今後の新設ペDESTロリアンデッキ整備により、駅前周辺が歩行者デッキで結ばれるとともに歩車道の分離が図られることから、市民生活の利便性や快適な回遊性に加えて、駅前広場を利用する車両や歩行者の安全性が向上し、にぎわい空間の創出にも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	まちなか定住促進支援事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施 策 の 内 容	3 まちなか居住の促進					
H27決算額	12,562千円	財源内訳	国県支出金 6,281千円	地方債	その他	一般財源 6,281千円

【事業の概要】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

(1) 実施期間：平成26年度～平成30年度

(平成26年10月1日開始)

(2) 実施エリア：計画において定めた中心市街地内

(3) 事業内容：①まちなか賃貸住宅家賃補助

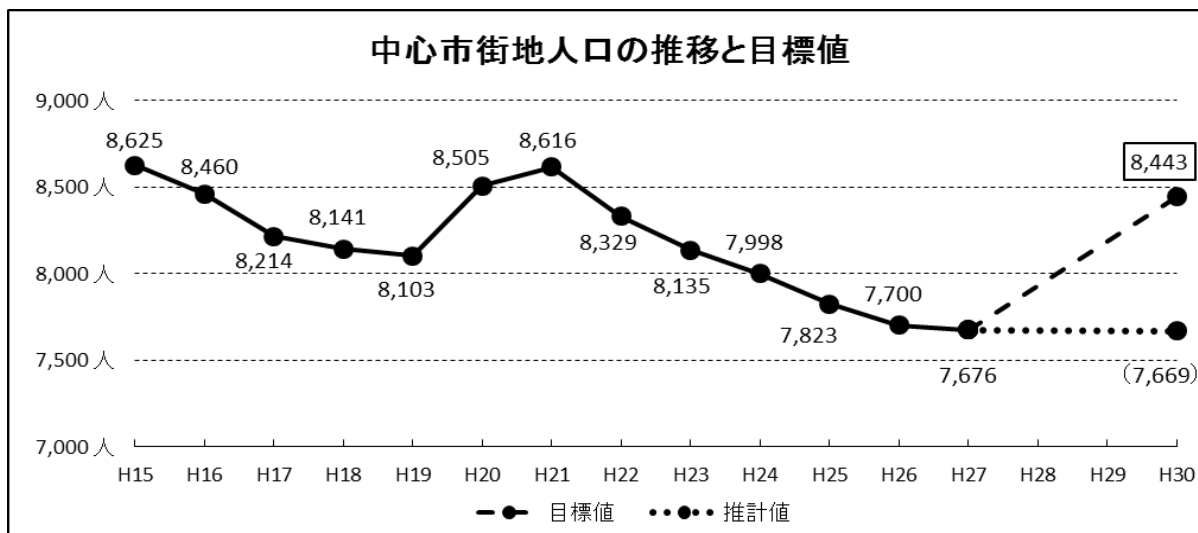
土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯または子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助しました。

②まちなか住宅建替え・購入補助

中心市街地エリア内の住宅建替え、または住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
①賃貸住宅家賃補助	2,708	交付決定：20件
②住宅建替え・購入補助	9,854	交付決定：20件
合計	12,562	



【事業の成果】

平成27年度は、家賃補助・建替え購入補助の予定件数はそれぞれ20件でしたが、予定件数の補助を実施することができ、中心市街地への居住の促進・定住が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	中心市街地活性化推進事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	5 中心市街地活性化施策の推進					
H27決算額	3,511千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 3,511千円

【事業の概要】

平成24年度に策定した「まちなかグランドデザイン」を具現化し、中心市街地活性化基本計画（平成25年度認定）に位置づけるまちづくり事業を推進するため、中央一丁目及び川口二丁目の事業化を目指し、民間活力を生かした施設整備の具体的な方策を検討しました。また、川口二丁目地内暫定広場である「三帆ひろば」において、Tシャツアートを実施し、継続的な賑わいの創出を図りました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,296	中央一丁目地区まちづくり事業化検討調査委託
	2,160	川口二丁目地区官民連携導入条件調査委託
消耗品費等	55	Tシャツアート材料、三帆ひろば用消耗品代 等
合計	3,511	



川口二丁目地区の開発イメージ



「三帆ひろば」で実施したTシャツアート

【事業の成果】

中央一丁目地区及び川口二丁目地区については、民間事業者へのヒアリング調査のもと、事業スキーム等を整理するなど、具体的な方策を検討することにより、中心市街地活性化に向けた事業化の推進が図られました。

また、川口二丁目地内暫定広場である「三帆ひろば」においては、Tシャツアートをカレーフェスティバルに合わせ実施することで、継続したにぎわいや交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与するとともに、さらなる愛着の持てる空間の形成が図られました。

款	土木費	項	住宅費			
事業名	住宅リフォーム助成事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	7 良好な住環境の確保と市街地の形成					
施 策 の 内 容	3 快適な住まいづくりの支援					
H27決算額	16,585千円	財源内訳	国県支出金 8,292千円	地方債	その他	一般財源 8,293千円

【事業の概要】

市民の居住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市民が、市内施工業者を利用して個人住宅のリフォーム工事を行う場合に経費の一部を助成する事業を実施しました。

〔対象となる住宅〕

市民が所有し、居住している住宅（併用住宅等は、居住部分のみ）

〔助成対象〕

市内の施工業者を利用して行う10万円以上のリフォーム工事

〔助成額〕

工事費用の10%を助成（限度額10万円）

〔実績〕

助成件数 213件（受付件数220件 中止取消7件）

助成額 16,585千円

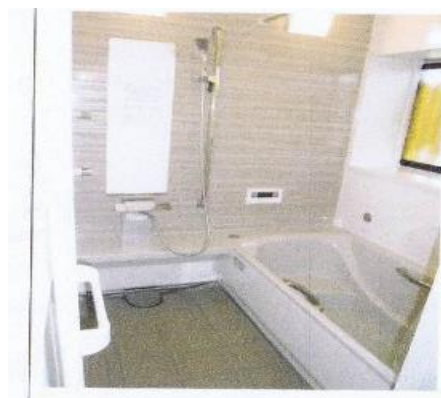
助成対象の工事費 254,848千円

〔主な工事内容〕

屋根や外壁の塗装、クロスの張替え、浴室（ユニットバス）・台所（システムキッチン）・トイレなどの設備交換工事



改装前



改装後

【事業の成果】

市内の施工業者を利用したリフォーム工事に対する助成を行うことで、市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化が図られました。